

## 岐阜県家庭教育学級実践事例

### 学校行事参加型+体験活動参加型(こども園)

学校名等	揖斐川町立やまと・きたがた幼稚園
実施日時	令和7年9月16日(火)
会場	やまと・きたがた幼稚園(遊戯室)
参加人数	全園児・祖父母(120名程)園職員(21名)
学習課題(分野)	リトミック活動(家族の大切さ)
運営者の願い	本年度の祖父母参観では、世代をこえたふれあいを大切にしたいとの思いからリトミック活動を取り入れた。リトミックは音楽に合わせて身体を動かし、リズムを感じながら表現する活動である。技術の習得を目的とするのではなく、音を通して心を動かし、人との関わりを深めることを大切にしたいと思い、当日は祖父母の方々とお孫さんをつなぎ目を合わせ、笑顔で触れ合っていたくことで、園でのお孫さんの成長を感じていただく機会となり、子どもたちにとっては大好きな祖父母の方に見守られながら活動することで安心感や自信につながる時間にしてほしいと思い計画した。

#### 学習の内容

#### < 取組方法・日程 >

クラス参観(全園児)

10時00分~10時30分 クラス参観(全園児)

10時40分~11時30分 リトミック活動(全園児)

#### < 取組の様子 >

- ・ 部屋での参観後、遊戯室に祖父母が入り、クラスごとに並ぶ。その後、園児が入場し、祖父母と一緒にリトミックを行う。
- ・ 講師の先生がタンバリンでリズムを取りながらお返事遊びをする。
- ・ 祖父母と子どもが向かい合い、音楽に合わせて頭や目、口などを触れ合い遊びをする。
- ・ スカーフを使い、音楽に合わせて振ったり投げたりする。
- ・ 祖父母と向かい合って手遊びをしながらじゃんけんをする。
- ・ 4・5歳児だけ遊戯室の真ん中に集まり、ピアノを聴きながら、走ったり止まったりする。
- ・ 連弾によるピアノ演奏を聴く。



#### < 参加者の感想 >

- ・ 普段、孫とは離れて暮らしているの、このような触れ合う機会を作ってもらえて、とても楽しかった。
- ・ 幼稚園で孫がこんなことを教えてもらっているとは思わなかった。先生の話聞いて楽しそうにやっている孫を見て安心した。
- ・ 子どもの成長は早いなあと改めて感じた。
- ・ 家にいるときの孫とはまた違った様子が見られてよかった。友達とも仲良く生活している様子が伝わってきた。
- ・ 今日は孫と触れ合うことができ、楽しかった。今日教えてもらったことを早速帰って一緒にやりたい。



#### 開催の工夫

祖父母参観(学校行事参加型)後の取り組みとしたことで、100%の参加となった。



#### 園で指導している講師

講師は、毎月1回園で指導をしていただいている外部講師の方をお願いしたので、子ども達もいつものリトミックの先生ということもあり、慣れた様子で活動に参加していた。また、普段行っているリトミックの成果も見えていただくことができた。



#### 安心感の中での参加

リトミック活動を通して世代間の温かな交流が生まれた。子どもたちは祖父母と一緒にリズムに合わせて身体を動かす中で、安心した表情や伸びやかな表現を見せていた。見守られているという実感が自信につながり、普段以上に意欲的に活動に参加する姿が多く見られた。



#### 子どもの育ちの共有

祖父母の皆様からは「園での様子がよく分かった。」「孫の成長を間近で感じる事ができた。」といった感想をいただき、家庭と園が子どもの育ちを共有する貴重な機会となった。